



2020年6月2日
報道関係者各位

プレスリリース Vol.1

バリシップ 2021 開催決定！

2021年5月20日（木）～22日（土）

テクスポート今治他

今治造船株式会社とジャパン マリンユナイテッド株式会社の資本業務提携などを筆頭に、今治市はこれまで以上に世界において重要な海事都市となった。同市は日本の2,500隻以上の外航船のうち40%を保有する70社の船主と160の船用機器メーカーの拠点、また日本海事産業の中心地である。

第7回目を迎えるバリシップは2021年5月20日（木）から22日（土）、テクスポート今治をメイン会場に開催される。多くの企業から出展要望を頂く中、本展の開催規模は18か国・地域より350社が出展、8,000人以上のビジネス来場者が参加した前回2019年開催よりもさらに大きくなることが期待される。例年と同様にバリシップは造船や海事テクノロジー、主要な造船会社、船主、船用機器メーカーの講演者によるカンファレンスやセミナーを実施し海事の法令分野から最新の技術開発など様々な分野の情報を発信することで、幅広いネットワーキングが可能な社会的な展示会である。また、本展の最終日（土曜日）には一般の方にも入場いただき、海事産業のより深い知識を提供できる市民参加型イベントでもある。

【開催概要】

名称：バリシップ 2021 (Bari-Sship 2021)

日程：2021年5月20日（木）～22日（土） ※22日（土）のみ一般来場者も入場可

時間：10:00-17:00 ※最終日のみ16:00まで

会場：テクスポート今治他

入場料：無料（登録制） ※22日（土）の一般来場者は登録不要

主催：インフォーマ マーケッツ ジャパン（株）

後援：（予定）：国土交通省、（一社）日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、
（一社）日本造船工業会、（一社）日本中小型造船工業会、日本船舶輸出組合、
（一社）日本船用工業会、（一財）日本海事協会



特別後援：今治市 今治市海事都市交流委員会

【今回の特徴】

昨今、環境保護への関心が高まり、2020年1月よりSox規制の強化が開始した。世界に比べて後れを取っている日本では様々な課題が残っている。その一方、スクラバーやバラスト水処理など、多くの企業の取り組みや開発が記事で取り扱われている。また、環境保護の他、重要課題の人手不足については、業務の効率化やビッグデータ活用、人材育成といったテーマも挙げられる。バリシップでは最新製品や技術の展示だけでなく、現在の課題を解決する情報も発信する。

【なぜ今治で海事展？】

今治市は海事産業を支える 500 以上の企業を有し、日本最大の海事都市として広く認知されている。市内には 70 の外航船と 190 の内航船の船主がおり、それぞれ 1,050 隻と 240 隻数に達する。さらに市内に拠点を置く 14 の造船会社が国内の造隻数 30%を占め、160 の船用機器メーカーの本拠地でもある今治市は海事産業において必要不可欠な海事都市。その日本最大の海事都市である「今治」で開催することにより、現場で活躍しているスタッフへ直接製品やサービスを PR することが可能になる。

【地域密着・市民参加型イベント】

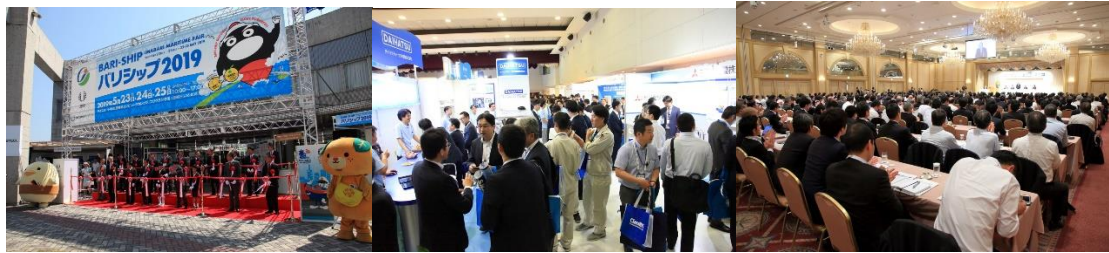
バリシップは土曜日を一般公開日とし、ビジネス関係者の他、学生などの市民にもご来場いただいている。一般の来場者にも本展にて海事産業を身近に感じていただくことができる、海事産業の将来を見据えたイベントを設けている。

前回バリシップ 2019 では、各工場での見学会、フジグラン今治にて企業や海事関連機関、大学などの展示や体験教室、子ども向け工作イベントが実施された。

今年も 5 月 22 日（土）を一般公開日とし、産業の活性化、人材育成を目指した多数のイベント開催を予定している。

バリシップ2021

BARI-SHIP IMABARI MARITIME FAIR



【お問い合わせ先】

インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-3 神田 91 ビル
担当：平原、久保
TEL：03-5296-1020 Email：info@bariship.com
URL：www.bariship.com